

輸送の安全に関する令和6年度の安全投資実績

1. 車両の安全に対する投資

- ① ASV技術（衝突軽減ブレーキ等）搭載の新型車両を既存の車両と入れ替えて導入（新車大型1台マイクロ2台）しました。
- ② 令和6年4月法改正対応の為、令和7年2月までに全車両にドライブレコーダー一体型デジタルタコグラフ機器を設置しました。
- ③ 従業員の労務管理及び労働環境改善の為、所定の営業所に対する遠隔点呼を行えるよう白河・棚倉・田村各営業所に遠隔点呼機器を設置し、運用を開始しました。
- ④複数台数運行時の事務所・各車両相互間の円滑な意思疎通を図るため、IP無線を導入しました。

2. 乗務員の技量向上

運転手の運転技術の向上の為に、安全運転研究所の「バス運転者4日間コース」を予定通り、今年度1名受講させ、社内に安全運転のエキスパートを養成しました。

3. 上記に加えて、全営業所に高性能アルコールチェッカー（データPC管理型）を導入し、高性能モバイルアルコールチェッカー（データPC管理型）の機種更新をいたしました。

令和7年2月

安全統括管理者・安全対策委員会